

JR東海駅「自由通路」に待合室を新設

どうぞご利用ください

かねて村民の皆さんよりご要望のありましたJR東海駅の待合室が完成し、10月16日から利用が可能となりました。

「自由通路」に新設のこの待合室には、冷暖房設備と飲み物の自動販売機を備え付けるとともに、村の刊行物や観光案内、各種イベント等のパンフレットを置くことにより、ご利用の皆さんにとって利便性が高く、快適に過ごせる空間づくりに配慮しました。電車の待ち時間として、また「コミュニケーションを図る場」として、どうぞご利用ください。

●待合室の利用時間 午前5時～午後10時

●問合せ 教育委員会社会教育課文化・スポーツ

ツ振興担当(☎282局1711 内線1422)



指導者からのメッセージ

少年育成 月刊 体験記 PART. 99



東海ジュニア卓球クラブと出会って
東海ジュニア卓球クラブ指導員
亀下 菊池 靖子

4年前、少年団の案内を見て息子と娘が入会した「東海ジュニア卓球クラブ」。2年前から当時幼稚園の年中だった末の息子もお世話になり、週5日(少年団は3日)、練習に励んでいます。

クラブに入会して良かったことは、恵まれた環境で卓球ができることはもちろんですが、高校生から幼稚園児の会員と交流できることです。今の時代、そのような交流はなかなか難しいことだと思えます。また、試合も多く、村の卓球大会で対戦した中学生と仲良くなったり、他県にもよく遠征するので、団体行動・マナーなど、すべてにおいて良い体験です。

私自身も3年前に、少しでも子どもの練習相手ができればと、村の卓球教室に参加したり、クラブに入って試合に出たりと、中学生以来久しぶりの卓球を楽しんでいましたが、1年前より末の息子を含めて幼稚園児や初心者が多数入会したこともあり、パンピ(小学2年生以下のクラス)は2人のお母さんが指導することになりました。経験も技術もない私が「指導員」という大役は、とても勇気が要りました。まして私たちのクラブは、他市町村からあえて入会する子どももいるクラブなのです。現在も自問自答の日々ですが、私にできることを精いっぱいやり、努力していきたいと思えます。

初心者や小さな子どもは最初、ボールをキャッチしたり、ラケットやボールに慣れることから始まります。ラリーは続かないので、指導員がボールを出して打たせる多球練習を付きつきりで行いますが、集中できる時間は短いです。それでも一球でも多く打たせて、上手に打てたときは褒めたいし、共に喜びたい、そして試合で勝つ喜びを味わってほしいと思っています。

私は今、卓球にかかわっていることが楽しく、また多くの卓球仲間・先輩との出会いは宝物です。子どもたちにも卓球を通して、数多くの出会いがあり、楽しく続けることができるよう応援したいと思えます。